

筆者の工夫を考える。

6年2組 国語「時計の時間と心の時間」

5月22日(金)2時間目。6年2組で国語「時計の時間と心の時間」の授業が行われました。

この時間は、筆者がなぜ複数の事例を挙げて説明しているのかに注目しました。

児童は、ロイロノートを使って4つの事例を比べたり、自分にとって分かりやすい順に並べ替えたりしながら、文章の工夫を読み取っていました。

友達の考えと比べる中で、「読む人によって分かりやすい事例が違う」「だから複数の事例があると伝わりやすい」という大切な気付きも生まれていました。

説明文を読むことは、書かれている内容を理解するだけでなく、筆者がどのように読み手に伝えようとしているのかを捉える学習でもあります。今回は、まさに児童が、文章の構成や事例の働きに目を向けながら、言葉を手掛かりに学びを深める国語の時間となりました。

